

〈連載〉  
あなたもできます  
「留学自分流」

第4回  
現地情報を調べる

小川翔平(広報青年部会)

### 各国のウェブサイトやイベントで

さて留学に行く国を決め、自分自身の目標をはっきりさせたら、あとは実際に留学準備を進めていくことになります。具体的には、学校選び、授業料振込、航空券の購入、保険加入、ビザの取得等です。その手順についても今後紹介していきますが、並行して現地の情報を調べていく必要があります。

私が韓国へ留学した時は事前に何回か訪れたことがあったのですが、ほとんどの人が留学する土地へ行くのは実際に留学してからになるかと思います。つまり初めての土地で、しかもいきなり一人で、新しい生活を始めることになります。そのため、現地の情報収集がとても大事な事前準備となります。

具体的には、まず外務省が日本と国交のある国の基本情報を HP 上にまとめているのでこれを調べます。各国の在日大使館のウェブサイトを見てみるのも良いでしょう。また都内の大使館、また代々木公園で各国のイベントを開催していることもあるので、機会があれば出かけてみると面白いかもしれません。さらに 10 月や 11 月には、東京外国語大学や近隣の神田外語大学の学園祭も開催されるので、そこは海外の友達を作ったり、現地での生活を経験して来た学生に会って情報収集をするのに絶好の機会に

なります。

### ファッションは気候や文化も考えて

「衣・食・住」を中心に考えていくとシンプルに現地での生活を想像することができます。

まず「衣」についてですが、どのようにオシャレをするかが大事なのではなく、現地の気候を知る必要があるということです。たとえば、タイやシンガポールのような常夏の国に行くのにコートは何枚も持っていく必要はないですね。また、カナダやロシアなど、気温が氷点下何十度もするような極寒の地に行くのに薄着ばかりもっていくことありません。服は最初の生活に必要な分だけ持って行って、あとは気候に合わせて現地調達するのがいいかもしれません。

ファッションの文化も国によってかなり異なるので、日本ではおしゃれに見えても、現地ではとても奇抜であったり、宗教的な理由であまり良くない印象を与えてしまうこともあります。そのような面についてもよく調べて留学に臨みましょう。